

(2) ^{キャノン}佳能大連事務機有限公司

項目	詳細
訪問日時	平成 23 年 10 月 31 日(月) 15:00~16:15
概 要	<p>残念ながら、機密上、工場ラインの見学は不可能だったが、物流の状況や労務管理など、日頃紙面では読めない詳細な説明をいただいた。</p> <p>●佳能大連事務機有限公司の概略説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1989年9月中国大陸初の日系企業として進出。 ・レーザービームプリンタ生産事業・プリンタ用カートリッジ(7機種)生産事業、カートリッジ回収事業の3事業が柱である。 ・総面積17万平方メートル。うち建物は16万平方メートル。 ・従業員数は2011年10月現在で9,021人(男性1,227人 女性7,794人)。4つの寮があり約5,000人が入寮しながら従業している。 ・日本人出向者は40人(ほかと比較すると多い)。 ・1994年から市内各地区に「キャノン希望小学校」を作ってきた。現在は時代に合った地域支援として理工大学への奨励金・奨学金を交付している。 <p>●佳能大連事務機有限公司の物流関係の説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・<輸入>約5,000FEU(日本4,100FEU、香港900FEU、米国30FEU) ※日本は東京港から出ている。2011年5月まで米国のカートリッジの輸入があったが、現地回収・現地処理するようになった。 ・<輸出>約13,000FEU(米国5,200FEU、日本850FEU、欧州5,300FEU、オセアニア1,800FEUほか) ※外部倉庫で保管し、入船後2~3日で処理する。 <p>●佳能大連事務機有限公司の労務管理等について</p> <p>賃金：手取で月1,500~2,000人民元(2万~3万円)。昨年比20%増。今年も最低賃金が20%以上上昇しているため、さらに増加する見込み。他都市と比べ大連は2倍ほど高く、物価・不動産も高騰している。</p> <p>人材確保・雇用：人材確保は常に課題となっている。定着率はキャノングループ他社より良く、退職率は3.5~4%。現在はへき地(黒龍江省や内モンゴル)からも採用し人材を確保している。</p> <p>福利厚生・社会保障：寮費無料(食事献立にも工夫あり)。中国では養老保険などのほかに育成保険があり、企業の負担が大きい。大連市は特に負担が大きい。</p> <p>●佳能大連事務機有限公司の課題について</p> <p>賃金上昇が最大の課題。ここ数年の急速な進展で、会社運営の問題にまで波及。今後、労働者集約という課題が生じてくると思われる。</p>